

静岡県立大学国際関係学研究所「講演会」

日本伝統武術の グローバル化

—和道流空手道の国際的普及への道—

空手道は、2020年東京オリンピックの正式種目となり、最近メディアでも取り上げられるようになりました。空手道には多くの流派がありますが、その中でも四大流派と呼ばれている一流派の和道流は、国際的な普及活動に力を入れています。三代宗家は、2005年より10年間、フランス・モンペリエに居住し、欧州での空手道事情を視察しながら、世界各地で和道流空手道の普及活動を行ってきました。こうしたご自身の海外経験にもとづき、本講演会の第一部では、外国人に身体技法を伝える方法、外国人にとっての空手道の魅力、武道とスポーツの違い、日本の伝統芸能との共通点などについてお話いただき、日本文化の伝播と継承について考えます。本講演会の第二部では、和道流空手道連盟理事長の坂巻明氏とともに、演技と解説を披露いたします。



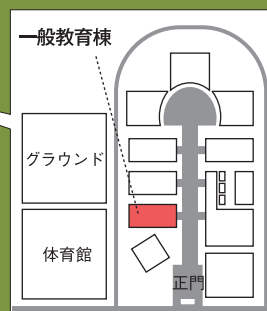
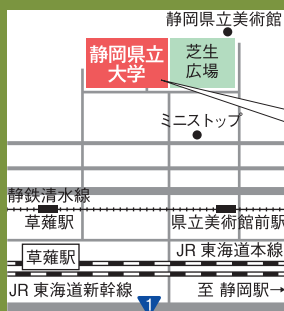
平成31年

1月23日(水)

16時20分～17時50分

会場：静岡県立大学 一般教育棟1階、2106室
(静岡市駿河区谷田 52-1)

●事前申し込み不要



講師：大塚 博紀 氏 (和道流空手道連盟 宗家 最高師範)

プロフィール

1965年生まれ。和道流空手道連盟三代宗家。日本古武道振興会、日本古武道協会所属。

6歳から夢想神伝流居合道を始め、17歳で三段取得。高校時代はレスリング部に所属、同時に柔道も修行し初段取得。東海大学在籍中に同大学空手部に入学し空手を本格的に始める。現在まで36年間、和道流空手道に従事する。大学卒業後、米国に3ヶ月、英国に1ヶ月、コロラド大学のESLに2年間留学し、英語学習に励むとともに、空手道の普及を行う。2005年、フランス・モンペリエに欧州空手事情視察のために移住。10年間フランスを拠点に世界各国を巡り和道流の普及活動を行う。2015年日本に帰国と同時に和道流三代宗家を継承し現在に至る。2016年、フランス国家スポーツ指導資格 BEES (Brevet d'Etat d'educateur sportif) を取得。

主催：静岡県立大学国際関係学研究所 共催：静岡県立大学国際関係学研究所附属グローバル・スタディーズ研究センター
企画・担当：奈倉京子・坂巻静佳 (静岡県立大学国際関係学部) 問い合わせ先：奈倉京子 (nagura@u-shizuoka-ken.ac.jp)